

四万十町議会 定例会 町長行政報告

人口減少対策

知事が年度当初の講話において「高知県の最大の政策課題は人口減少問題への対応である」と述べられたとおり、人口減少対策は本町にとっても避けては通れない最大の政策課題となっています。平成18年の合併時には約2万1千人いた人口も、本年10月末には1万5千人を下回っており、合併から18年あまりで約3割の人口減少となりました。また、若い世代ほど減少率は高くなっており、特に出生数に至っては6割以上の大幅な減少となっています。本町では、平成26年の「まち・ひと・しごと創生法」の施行以降、地方創生に積極的に取り組んできたところですが、移住施策においては一定成果があったものの、課題の解決には至っていないのが現状です。

こうした中、県は本年3月に「高知県元気な未来創造戦略」と「高知県中山間地域再興ビジョン」を策定し、これらの計画を推進するための財政措置として「高知県人口減少対策総合交付金」を創設したところであります。本町としても、県や県下の市町村と足並みをそろえ、「34歳以下人口の維持・増加」そして「出生数の維持・増加」に向け取り組むこととしていきます。なお、新設された県の交付金については、本年度より既に活用している「基本配分型」に加え、令和7年度当初予算より順次「連携加算型」も活用することとしており、現在県の所管部署と事業計画案の調整を行っているところです。

一方で、人口減少は依然として続くことが想定されており、官民間問わず、人材や財源の確保など、さまざまな面において益々厳しくなることが予想されます。

今後は人口減少が続いた後の未来も見据え、「攻めの人口減少対策」と「守りの人口減少対策」の両面からまちづくりを進め、この町で暮らす町民の皆さまの生活を守っていききたいと考えています。

郡守、議長以下10名の訪問団が来町するなど、交流事業の再開に向けて活発に意見交換を行い、連携を深めています。

令和6年5月に教育長以下6名の訪問団が再度高知郡を訪問し、具体的な交流事業内容を協議した結果、令和6年度から7年度にかけて高校生を対象とした教育交流を行うとともに、高知郡と四万十町でそれぞれ行われているマラソン大会に選手を派遣しあうスポーツ交流を行うこととなりました。

スポーツ交流については、令和6年11月に高知郡で開催されたコインドルマラソン大会にランナー5名を派遣し、高知郡体育協会などの民間団体とも交流を深めました。令和7年3月の桜マラソン大会には高知郡からランナーが参加する予定となっており、本町のスポーツ団体なども含め、民間にも交流の輪を広げたいと考えています。

また、教育交流においては、高知郡ヨソソク高校と窪川高校の生徒による交流を開始しました。本年度はオンラインによる交流を3回実施することとしており、来年度はヨソソク高校生が来町するよう、両校での協議が進められています。

この教育交流により、両校の生徒



令和6年11月 代表団が高知郡消防署を視察

が互いの文化に対する理解を深めるとともに、コミュニケーション力を身に付けることによってグローバルな視野を養うことを期待しています。韓国高知郡との交流事業については、今後も、協定に基づき、教育、文化、スポーツなどの分野において相互交流と協力を促進し、お互いの繁栄と発展を図るよう取り組んでいきます。

町民の皆さまには、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

移住・定住の推進

本町の移住・定住は平成23年度から推進しており、昨年度末までで、013組1,440人の方が町外から本町に移住しています。今年度については、令和6年10月末現在で123人、うち県外から53人が移住しており、昨年度より多いペースで推移しています。

先日、株式会社ブランド総合研究所から発表されました「地域ブランド調査2024」の市区町村魅力度ランキングにおいて当町は全国56位、四国内では1位の評価を受けており、こうした結果が四万十町ブランドの



窪川中津川に整備された中間管理住宅

醸成、ひいては移住の促進につながっていることと感じています。今後の展開としては、特に情報発信が重要と考えており、令和6年8月からは移住のホームページを改定し、グルメなど地域情報を含めて地域の魅力とともに発信する形としています。

また、中間管理住宅については現在までに48棟を整備し、ほぼ入居しているという状況です。今後も年間10棟を目標に整備を続けていきたいと考えています。

韓国高知郡との交流事業

平成24年4月に協定を締結した韓国高知郡との友好交流は、新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、令和元年から一時中断されておりましたが、令和5年10月に高知郡最大のイベントであるモヤソン祭りに招待されたのを皮切りに、令和6年3月の桜マラソン大会に高知郡

「広域がん検診」を実施します！

今年度、がん検診を受診していない方を対象に「広域がん検診」を実施します。「広域がん検診」は、住所地以外の会場でも受診できます。

◆実施日・会場・検診の種類

内容	実施日	肺	胃	大腸	乳	子宮頸	所在地	会場
広域がん検診	2月11日(火・祝)	○	○	○	○	○	高知市	総合保健協会中央健診センター
	2月16日(日)	○	○	○	○	○	南国市	保健福祉センター
	2月23日(日)	○	○	○	○	○	高知市	総合保健協会中央健診センター
	2月24日(月・祝)	○	○	○	○	○	南国市	保健福祉センター
	3月1日(土)	○	○	○	○	○	宿毛市	総合保健協会幡多健診センター

◆対象者

今年度(令和6年4月1日～)町のがん検診を受診していない方で、令和7年4月1日までに以下の年齢になる方。

- 肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診/40歳以上の男女
- 乳がん検診/40歳以上の女性で昨年度未受診の方(令和5年4月1日から令和6年3月31日までに乳がん検診を受けてない方)
- 子宮頸がん検診/20歳以上の女性

- ◆検診料 肺がん検診/100円
胃がん検診・大腸がん検診/各500円
子宮頸がん検診・乳がん検診/各400円

次の方は、各種がん検診料が無料です。

- ①令和6年度内に70歳以上となる方(ただし、肺がん検診は65歳以上となる方)
- ②生活保護世帯の方(申し込み時にお伝えください)

◆申込方法

高知県総合保健協会へ電話でお申し込みください。
※各会場定員になり次第、申し込みを締め切ります。
電話番号/088-831-4351
受付開始/1月8日(水)～
受付時間/平日8:30～17:00まで